

第6回インテリアデザインミニフォーラム

「茶室入門」

日 時	1994年6月25日	場 所	卯辰山工芸工房 茶室
講 師	茶道裏千家教授所 裏松舎副主宰 大島廣靖 氏		
内 容	<p>参加者 60人</p> <p>大島宗翠茶道裏千家裏松舎副主宰を講師に招き、「茶室入門」と題して講演が行われました。講演の前には会場である卯辰山工芸工房内にある茶室で、参加者を代表して小野田さん、山田さん、由水さんの3名の方に抹茶がふるまわれた。抹茶をいただきながら、この茶室を題材にして、茶室には通常にじり口という小さな入り口があり、頭をかがめて入ること、また入った正面には二畳ほどの床の間が目に入るよう配置され、墨蹟窓という小窓から照らされるように四季に合わせた掛け軸、花が置かれることなど、空間としての約束事について話を聞いた。その後、隣室の和室に移動して茶道には表千家、武者小路千家、裏千家があり、裏千家では薄茶をよく泡立てる点前作法であるのに対し、表千家、武者小路千家では泡をたてない点前作法といった流派の心得の違いついての説明、さらに具体的な茶室として名古屋の「如庵」を例にスライドを使って茶室の特徴について講演を聞きました。</p>		

